



Alma Mater

# SAPIENTIA

英知大学同窓会会報

第5号 Mar. 10, 1996

発行：英知大学同窓会  
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1  
TEL.& FAX. (06) 498-6258  
発行責任者：野村 裕  
編集：英知大学同窓会総務委員会

## 創設！英知大学に大学院

かねてより設立に向けて準備を進めていた英知大学大学院。この度、文部相の正式認可を受けて、いよいよ設立の運びとなりました。

学長から寄せていただいた記事にあるように文化の根源とも言うべき宗教を通じて、あるいは国際言語である英語圏の言語と文学を通じて、これからの社会に貢献する国際感覚豊かな人材の育成と日本の学術研究の先駆的大学院となるよう期待します。

英知大学 学長 中野正勝

同窓生の皆さんには、お健やかに新しい年をお迎えになられましたでしょうか。昨年は阪神淡路大震災で、同窓生の中からも犠牲者が出、また災害に遭われた方々も多々ありました。今年こそは、恵まれた良い年でありますようにと心から願っております。母校の英知大学からは、今年を始めるに当たって、皆さんに喜んで頂けるお知らせをお伝えできることを大変嬉しく思っております。既にお聞き及びのことと思いますが、昨年12月22日に文部省から大学院設置の正式認可を頂き、今年4月から神学科とキリスト教文化研究所を母体とした宗教文化専攻と英語英文学科を母体とした英語学英米文字専攻からなる人文科学研究科の大学院博士課程の前期課程（修士または専修）の大学院を開設する運びになりました。大学院の創設は、創立者田口芳五郎枢機卿様の念願でもありまして、亡き創立者もさぞかしおよろこびのことと思います。

昨年は、未曾有の事件と大震災によって、日本の社会通念や価値観に大きな疑問と警鐘が鳴らされました。そこから私たちが学んだことは、人間の知恵が如何に浅く

脆いものであり、人間がいかに粗末に扱われているか、そしてしっかりとした価値観と真の人間の幸せを掴むことの大切さ、人間の心といのちの尊さ、人間お互い同士の愛がいかに必要であるか、そして神の知恵（英知と愛）の偉大さでありました。しかしこれらは正に、英知大学の建学の理念であるカトリックの精神であり、英知であります。英知大学はこれを教授し育むために、先ず最初に神学科が創設されました。しかしそれを日本という狭い領域に限定するのではなく、世界的視野に立った真の価値観を探求し、そこに生きる国際人を育てるために、英語英文学科、イスパニア語イスパニア文学科、フランス語フランス文学科を開設し、不可欠な語学教育とともに、その深い理解をそれらの諸国諸民族の文学を通じて教授するためでした。そして四年前には、更にそれらの総合とともに、アジアを視野に入れて、日本を取り巻く環太平洋の人と文化を理解する国際文化学科を開設いたしました。この度の人文科学研究科の大学院は、宗教文化専攻においてはさらにユダヤ・キリスト教・イスラム・儒教・道教・仏教の研究を通して人間の価値観を広い視野から深め、英語学英米文学専攻において、国際言語となっている英語圏の言語と文学を通して、有用な国際人を育成することを目的としております。このように一貫した、しかも深い伝統に根ざし、英知に満ちた真理の研鑽を実現することによって、日本の社会に、そして多様性と独自性をもつ国際社会に貢献する若者を社会に送り出すことを、最大の念願としております。同窓生の皆さんの一層のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



## ホームカミングデー

1995年度ホームカミングデーが、去る95年11月3日に例年のごとく開催しました。今回、このイベントにご出席頂いた卒業生は、100名を大きく上回り、大好評のうちに執り行なうことができました。

また、中野学長はじめ教職員の皆様のご出席頂きましたことに紙面を借りましてお礼申し上げますと共に、お忙しい中、ホームカミングデーにご賛同、ご出席頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

今回のホームカミングデーのイベントの内容は、

(1) 阪神淡路大震災で被災された方々を招待

(2) クラス同窓会などの場としての利用

(3) バーベキュー大会

(4) ビンゴ大会 等、それぞれにご参加頂き、楽しんで頂いたことを役員一同喜んでおります。

ホームカミングデーは、例年通り大学の学生食堂を使用させて頂き開催いたしました。

会場のテーブルのあちこちで「久しぶり、元気だった？」等と再会を喜ぶ声、友人達の情報交換をする会話などが和やかに行なわれていました。バーベキュー

大会の方では、バーベキューコンロを囲み、肉や野菜などを焼きながら会話を弾まされていきました。大変好評な様子で今後もバーベキュー大会のような企画を充実するつもりです。一人でも多くの卒業生の皆様にお楽しみ戴ければと考えます。



同窓生同士の懐かしい話の中、最後の企画のビンゴ大会には多くの景品を用意いたしました。

ビンゴを読み上げる度に先輩・後輩の区別なく歓声が上ががり、カードを見せあつたりと楽しく盛り上がり大盛況のうちにホームカミングデーの幕を閉じることができました。

95年は阪神淡路大震災などの大きな事件があり大変な年でした、多くの方がこのイベントに参加して頂き同窓生という仲間を一人一人が持っていることを思い出して勇気づけられたと思います。同窓会では、このホームカミングデーを皆様の集いの場として執り行なっています。

年に一度の同窓会のイベントにご出席下さい。クラス会・クラブOBの会などの開催場所としてもご利用頂けます。母校の新しい一面も御覧頂いて母校の発展のためのご協力をお願いいたします。

同窓会よりお送りした震災見舞金について、思いがけず多くのお礼状を頂きました。一枚一枚の葉書や手紙をチェックし、つづられた文章を読む内に、改めて同窓会活動の大切さを感じました。一年前の混乱期に多くの情報を寄せていただいた方々、あるいは義援金という形で支援頂いた方々に改めて御礼申し上げます。皆様の暖かい協力は確実に被災した同窓生に届きました。また、これらの橋渡し役として同窓会がお役に立てたことを心から喜ばしく思います。

前年度奨励会費から支援した留学生、又そのご両親からもお礼状を頂きました。元気に活躍しているとの内容でした。異なった生活環境に戸惑いながらも楽しんでい

る様子です。後輩からの嬉しい便りです。同窓会ではこれからも苦学生や、やる気のある現役の学生を支援して行きたいと考えております。

被災された方の中で下記の方には住所不明により義援金を送付できませんでした。

S 4 9 卒	加 藤 康 己
S 5 6 卒	山 口 陽 子
S 6 0 卒	森 理
H 2 卒	松 永 由 岐
H 2 卒	前 田 彰 子
H 6 卒	佐 藤 和 子

同窓会事務局で6名分の義援金をお預かりしております。ご存じの方は同窓会事務局にご連絡下さい。



11月3日はホームカミングデイと共に軽音楽部のクラブ同窓会も開かれました。軽音楽部同窓生からクラブ同窓会を開きたい旨の打診があり、同窓会は快くこれを援助し、賞賛するものです。これから先、このような同窓生同士の親睦がさらに深まることは我々同窓会の目標とすることでもあります。「けいおん会」に負けない各クラブ同窓会が開かれ、懐かしい仲間が集う場を設けていただくことを希望してやみません。

英知大学軽音楽部 創立30周年

第1回同窓会記念パーティ報告書(抜粋) 1995年7月1日

「けいおん会」 会長 中本昌良

英知大学軽音楽部が創立されて以来30年が経過した。この間、私的な集まりは個々に行われていたようだが、クラブとして或いはクラブ全体の同窓会的な行事は開かれることはなかった。

英知のように、歴史も学閥も期待薄というハンディを抱えからこそ、後輩の育成とクラブの発展を支援するための支援団体としてのクラブ同窓会が必要となる。

これまでクラブ同窓会が設立されなかったのは同窓会役員会が、本来の同窓会としての機能を果たしていなかったこともその要因の一つであろう。昨年の大学創立30周年を記念して行われた同窓会のパーティは、母校の新たな1ページを迎えるために実に有意義な行事となった。そして同じ年、若くてやる気のある、本来の同窓会を作ろうとする役員会に刷新されたことは実に喜ばしいことである。この記念パーティで久々に出会った元部員の有志が中心となり、今回の同窓会「けいおん会」の発足へと結び付いたのだから。

現在クラブの同窓会が事実上機能している会はないといっても過言ではない。そうした状況下において軽音楽部が、今回この種の同窓会設立を成し遂げたことは実に意義のあることではないだろうか。クラブとして最も歴史の古いクラブとしての役割を考えると、それほど画期的な出来事でもなく、当然の成り行きかもしれない。

国際文化学科の新設、大学創立30周年、同窓会役員会の刷新等々、時代は大きくその流れを変化させている。そして今年、軽音楽部がこの流れに加わった。今後この流れを更に大きなものとするため、大学、本学同窓会役員会を中心に、各クラブがそれぞれの同窓会を設立でき

得るような環境整備を行い、母校のより良い発展を図る必要かあろう。その為には、軽音楽部同窓会は、後輩の育成とクラブのより良い発展を支援しつつ、可能な限りの協力を惜しむものではない。

さて、以上のような経緯と意義の下、1994年11月3日、実に37名にももの元軽音楽部員が全国から集った。30年間に軽音楽部に所属した元部員は、推定で約300名である。しかし前述のように、現在まで全く現役との絆が切れていたことや、大学同窓会の名簿にも所属クラブの掲載欄がなかったことなど、諸々の理由から元部員の所在かつめず、まずは名簿作成から開始した。そして、やっとの思いで153名の氏名が判明したものの、実際に通知が出せた人数はその内の133名であった。したがって参加者数はその約3分の1となり、クラブ同窓会への参加率の高さを証明してみせた形となった。

今回、会合の参加率の高さは、30年振りであったことと、初めての同窓会であったことが上げられる。またクラブ活動を通じて苦楽を共にした仲間意識の強さが証明されたと言える。今回の「けいおん会」は、クラブの同窓会としても正式に発足を果たしただけでなく、懐かしい昔仲間の集いとしても大成功をおさめることができた。更に、学長はじめ、クラブ顧問や本学同窓会会長等の来賓の方々のご出席を得られたことは、軽音楽部の新しい1ページにふさわしい充実した会となった。

最後に、当日の会場設定等々、諸般にわたりご協力下さった大学の諸先生方や事務局の方々、並びに本学同窓会役員会の諸氏に対し、「けいおん会」一同を代表して、ここに改めて厚く御礼申し上げたい。

尚、当日の参加者は近畿一円で28名、関東4名、中部2名、中国山陰2名、九州1名で計37名で、まさに全国に散らばった元部員が大集合して催された。二次会は梅田に場所を移し、夕刻6時から大阪駅構内にある中華料理店にて行われた。夜の9時過まで、懐かしくもあり又楽しい一時を過ごした。その後、20名が同じく梅田のライブスポットで、お喋りとダンスを交えた三次会を終電間近まで続けた。その後各地方からやって来た女性軍が同じ宿に泊まり、更に懐かしい一時を過ごしたり、また別のグループは明け方まで飲み明かしたりと、第1回「けいおん会」は翌日まで尾を引いた。



## 同窓会は困窮しております。

同窓会会計の財源としては卒業生各位に納めていただく入会費と、同窓会員各位にお願いする年会費があります。しかし、年会費(3,000円)は同窓会会則の中に明記しているにも関わらず、これまで納入のお願いをさせていただかず、御納入もいただかない状況がづいておりました。これは同窓会が会員各位より年会費を集めるだけの体制が整っていなかったことと、同窓会活動が年会費をお願いするほどには発展していなかったことが原因でした。

しかし近年、同窓会事務局の開設、ホームカミングデイの開催、名簿編纂及び発行、同窓会会員データの充実及びシステム化、留学生への援助、苦学生への奨学金、義援金の募集、会報の発行など活発な同窓会の活動を通して、概ねその業務の骨格がつくられてまいりました。

なお一層同窓会活動を活性化させ、同窓生間の交流と後輩への支援を図り、英知大学の発展に貢献できればと考えております。つきましては現在の同窓会活動にご理解を頂くと共に、事情ご賢察のうえ、年会費の御納入にご協力のほど、切にお願い申し上げます。

### 年会費 3,000円 (1年間)

振込先 さくら銀行園田支店・普通 4053087  
英知大学同窓会会長 野村 裕

振込用紙には、【氏名】と【あなたへの宛名シールに記載の番号】を必ずご記入願います。

終身会員となるための終身会費制度を準備しております。一括納入で、以後会費納入は不要です。

終身会費 30,000円

## 「同窓会会費システムの変更について」

現在、同窓会への入会費は卒業時に納めていただいております。かつて入学時に納めていただいていた入会費を、事務処理能力が不足し退学者等への返却が遅れたり、同窓会活動の内容が不明確であったために混乱を招いた時期がありました。そのため卒業生(新同窓会会員)のみから入会費を徴収すべきであるとの判断で卒業時徴収の形を取らざるを得ませんでした。

しかし、卒業時徴収は多くの同窓会入会費未納者を生み出す結果となり、同窓会会計は困窮し、愛する母校への貢献はおろか同窓会の存続さえままならない状況を招いています。今日、同窓会活動も充実し、事務局の開設によりさらに活動を広げるべき体制が整ってまいりました。

これに伴い、同窓会入会費の納入を徹底すべく、入学時徴収を行うことを昨年度の同窓会総会において決定しました。さらに会則の中にあって、30年来金額の見直しがされなかった入会費10,000円の記述を改正し、20,000円に引き上げることも併せて決定されました。

これにより、今年度の新生から入学時徴収20,000円を実施し、在学中の学生についてはこの4月一斉に前年通り10,000円の納入をお願いすることとなりました。英知大学に入学した者はすべて準会員となります。さらに在校生にも同窓会会報を配付し、準会員としての恩恵を受けていただきます。これは在校生各位にも同窓会活動を深く知っていただく良い機会となるはずです。もちろん過去に英知大学を中退したものの、母校に愛着を持っている方には入会費を納入いただければ準会員として登録します。皆様のご理解をお願い致します。

### 会則の変更箇所

第4条上 (事務所)を(事務局)に変更。

### 会則の追加及び修正箇所

#### 第二章 (会員)

第5条 1、正会員は英知大学及び英知短期大学の入金納付済の全卒業者とする。

2、在校生で入金納付者を準会員とする。

第6条 1、新入生は入学と同時に準会員として入会する。

2、準会員は卒業と同時に正会員として入会する。

#### 第三章 (会費)

第8条 1、新入生は、別表1に定める入会金を入学時に納付しなければならない。

2、準会員が正会員になる卒業時に、又それ以降毎年度毎に別表1に定められた年会費を納付しなければならない。

#### 第十一章 (附則)

6、この会則は、平成7年11月4日から施行する。

別表1、入会金 20,000円 入学しない場合、卒業しない、出来ない場合は申し出により返却する。

終身会費 30,000円

第5条2、3項、第6条2項はそれぞれ第5条3項、4項、第6条3項に繰り下げる。

#### 削除箇所

別表1、平成元年度以降全会員に適用、を削除。



# 決 算 報 告

95年11月3日の総会の結果、95年度決算報告及び96年度予算案、事業計画が賛成多数で下記のように決まりました。

## 1995年度 英知大学同窓会決算報告書 (1994年10月1日～1995年9月30日)

### 【収入の部】

費 目	金 額
前年度繰越金	7,405,182
同窓会会費	1,360,000
義援金	1,604,897
受取利息	48,756
雑収入	151,740
奨励会受入額	57,581
合 計	10,628,156

### 【支出の部】

費 目	金 額
配布金 (関東支部)	351,236
会報発行費	580,926
義援金	2,449,818
献花費及び記念品費	20,000
OBクラブ開催費	285,434
大学祭実行委員会助成費	50,000
クラブ活動助成費	139,649
会員名簿システム化	1,003,571
名簿追補版作成費	165,000
総会費	437,074
郵送費	381,950
事務局維持費	279,840
会議費	157,044
監査費	50,412
西文科記念行事助成費	300,210
奨励金	100,000
雑費	75,491
予備費	174,500
合 計	7,002,155

## 1996年度 英知大学同窓会予算案 (1995年10月1日～1996年9月30日)

### 【収入の部】

費 目	金 額
前年度繰越金	3,626,001
同窓会会費 (未納者納付)	1,840,000
(96年卒業生分)	3,400,000
(96年入学生分)	9,000,000
(年会費納付)	12,000,000
受取利息	210,000
合 計	30,076,001

### 【支出の部】

費 目	金 額
配布金 (関東支部)	350,000
機関誌発行費	600,000
献花費及び記念品費	60,000
OBクラブ開催費	500,000
名簿印刷	5,700,000
大学祭実行委員会助成費	50,000
クラブ・クラブOB会助成費	200,000
クラス会助成費	3,000,000
会員名簿会費システム化	3,000,000
名簿追補版作成費	200,000
総会費	500,000
郵送費	1,500,000
仮事務局維持費	1,500,000
会議費	200,000
監査費	100,000
雑費	100,000
予備費	200,000
合 計	17,760,000

## '95年度 同窓会事業報告

1. 会員名簿管理のシステム化 【組織委員会】
  - 1. 会員相互の連絡網の整備
  - 2. 英知大学同窓会関東支部の充実と交流
  - 3. 同窓会費、年会費及び徴収方法の再検討
  - 4. 会則の見直し
  - 5. 西文科記念事業への助成
  - 6. 代議員
  - 7. Home Coming Dayのイベント企画 【事業委員会】
8. 英知大学祭実行委員会への助成金
9. 大学クラブ活動の活性化への援助
10. 同窓会会報の発行 【総務委員会】
  - 1.1. 大学卒業生への就職協力  
(就職課とのタイアップ)
  - 1.2. 仮事務局(大学就職課)
  - 1.3. 大学側との懇親会
  - 1.4. 総会の開催
  - 1.5. 卒業式への献花及び祝辞、記念品の進呈 【会 計】
16. 入学式への献花
17. 同窓生及び大学への義援金
18. 在学生への学資支援
19. 在学生海外研修旅行への援助
20. 長期計画 【長期計画委員会】

## 96年度 同窓会事業計画案

1. 卒業生への献花及び祝辞、記念品の進呈
2. 入学式への献花
3. 同窓会組織の充実
  - 関東支部
  - 長期計画委員会
  - 事業委員会
  - 組織委員会
  - 総務委員会 (広報委員会)
  - 代議員 (各学年、各クラス世話役)
  - 仮事務局
  - 大学側との懇親会
  - 総会の開催
4. 会員名簿の発行及び発送  
名簿メンテナンス
5. 同窓会会報の発行
6. 会則の見直し
7. 同窓会費のシステム化
  - 入会費
  - 年会費
  - 終身会費
8. Home Coming Dayのイベント企画
9. 英知大学同窓会関東支部の充実と交流
10. 大学卒業生への就職協力  
(就職課とのタイアップ)
  - 1.1. 英知大学祭実行委員会への助成金
  - 1.2. 大学クラブ活動の活性化への援助
  - 1.3. OB会、クラス会への助成
  - 1.4. 開かれた大学への参画  
(社会人学習の場と施設利用)



「超氷河期」といわれる就職

「もしドラえもんのポケットがあったら、」

英知大学 就職課長 須澤 晃

「もし、ドラえもんのポケットがあったら……、あなたは今なにを出しますか？」

これは、昨年の大手旅行会社の一次書類選考の小論文のテーマです。さて、みなさんは、なにを出されますか？

藤子・F・不二雄原作の「ドラえもん」シリーズは、子どもたちにとって、時には、おとなにとっても、その奇想天外だがやさしさと夢のあるストーリーで、ロングセラーを続けています。最近では専門家の監修のもと、学習性の高い“まんが教材”が多く登場し、これまた、子どもたちの人気の的です。

このドラえもんの人気の秘密の一つには、ポケットにあることはいまでもありません。このポケットからは、どんな道具が出てきて、子どもたちの心を捕らえているのでしょうか。例えば、まず初めは「どこでもドア」。ポケットからドアを取り出してドアを開けるや、どこにでも行きたいところへ行き着くというもの。つぎによく登場するのは「タケコプター」。頭にプロペラが付いた帽子をかぶると、どこにでも飛んで行きたいところへと自由に飛んで行けるというもの。なんでも欲しいものを取り出せる「とりよせバッグ」など、その数ざっと40から50は存在しているようです。

さて、もし今このポケットがあったら4回生の学生は、どんな道具を取り出し、どうするでしょうか。

まずは、「なんでも発行機」を取り出し、自分が最も希望し将来を約束される企業の「内定通知書」を発行したいのではないのでしょうか。

ところで、マスコミが考え出したか、いつからいわれるようになったのかさだかではありませんが、就職状況に関して「どしゃぶり」だとか、「氷河期」「超氷河期」とか呼ばれています。今後ますます、買手市場が進むのは必死のようですが、就職状況については今後なんと呼ぶつもりでしょうか。

さて今年の企業の採用選考試験の特徴は、まず第一に各社は、趣向を凝らし大学偏差値や一般常識試験よりも“個性や特性を見極めたい”との傾向にあることです。したがって、表題の「もし、ドラえもんのポケットが…」のようなテーマの小論文を要求し、指定の資料をも

とに、企業分析や販売戦略などについてレポートを書かせたり、あるいは試験会場で、歌を歌う、寸劇をするなど、どんなスタイルでも可能なパフォーマンスをさせ、自己表現を評価するなどの場合が増えたようでありませう。

次に第二には選考試験の回数が増加し、多い企業では、8次選考までする場合もありました。これは絞り込みに多くの機会を重ね、慎重に志望動機と入社意志を確認したいが故でしょう。したがって、なかなか「内々定」「内定」がでないという状態が続いていたようです。

ところで、本当に「今、「ドラえもん」のポケットがあったら、何を取り出し、どうするのでしょうか？」

子どものように純真にかつ素直に問いに答えられなくなっているのを試しているようで、少し気恥ずかしく、またそんなに夢をもって生活しているのか、なにか諦めの生き方をしているのではないか、改めて考えさせられます。

私ならば、今、ポケットがあったら、「いらぬものリサイクル機」を取り出し、いらぬものを捜し出し、吸い取り、本当にいるものにリサイクルします。現代の社会には、いらぬものが多過ぎるのです。それに引き換え、必要なものが余りに少な過ぎるのです。経済が不安定で経済戦争や恐慌が発生するのも、宗教や思想が違うだけで戦争が続いているのも、わずかな土地や金銭があるだけで、家族や友達間にいさかいが絶えないのは、きっと“今、いらぬもの”が多過ぎるのです。そして、必要なところに必要なものがないからでしょう。必要な訳ではないのに、他人が持っているからとか他で使っているからと欲しがり、手にいれるが、手に入れたからは使うことなく、邪魔になるだけというものが多過ぎるのです。不必要なものをもたなければ、不必要な考えもなくなり、現代社会の人間にとって極めて難しい“ストレスからの解放”ができるのではないのでしょうか。

特に、震災後、強くそれを感じるしだいです。

いつの日にか、“就職戦線”や“就職氷河期”などといった言葉がなくなることを心から期待しますが、できることなら、世の中の“今、いらぬもの”を吸い取り、いるものにリサイクルできる「いらぬものリサイクル機」を、是非ポケットから取り出して活躍させたいと思います。

同窓生各位には、引き続き本学生の就職のため格別のご配慮とご協力をお願い申し上げます。



## 学園優り

# 英知大学姉妹校紹介

### LORAS COLLEGE

アメリカの姉妹校、ローラス大学は、米国アイオワ州のデュビューク市という市にある。デュビューク市は、シカゴから西へ車で約4時間、すぐ傍らをミシシッピ川が流れている人口約6万5千の市で、3大学をはじめ多くの学校と教会のある情緒豊かな市である。ローラス大学はそのデュビューク市の小高い丘の上に建っており、ゆったりとしたスペースの学内はとても美しい。

1839年創立という同大学はさすがに内容が濃く、専門課程には英語、スペイン語、フランス語をはじめ、経済、歴史、宗教、音楽、ジャーナリズム、あるいはコンピューター科学、物理など20の学科があり、学内の6つの寮と共に勉強するための環境はとても素晴らしい。

ローラス大学は、英知大学と同じカトリックの教区立の大学であり、学生数も2千名程で、英知の姉妹校としてはうってつけの大学である。

一世紀半の長い伝統は、ローラス大学に多くの優れた卒業生を生み出してきている。彼らの母校を思う気持ちが、多くの寄付行為を生み出し、ローラス大学にはそういった種類の施設が多く見られる。大学の心臓とも言え



るチャペルにしてもそうだし、頭脳とも言える図書館もその例にもれない。体育館、室内プール、室内トラックなど各種球技施設で学生達は、体力の増強を計っている。健全な肉体に健全な精神を地で行くこの態度は、大学当局が全学生に積極的に求めているものなのだそう

だ。学内の学生達の雰囲気もとてもよく、全く知らない学生達のほとんどが気持ちよく挨拶してくれる。留学または研修旅行などでローラス大学に滞在した英知大生は異口同音に、滞在家庭や大学側のホスピタリティのすばらしさを讃えている。

ローラス大学のスタッフ、教授、事務員連も積極的に我々を後押ししてくれている。毎年英知大学から数名がローラス大学へ留学しており、ローラス大学からは毎年1名、卒業生がアシスタント教員として英知大学へ来て

いる。



### UNIVERSITE CATHOLIQUE DE L'OUEST

フランスの友好校、通称「アンジェ大学」は正式名をUNIVERSITE CATHOLIQUE DE L'OUEST

(西部カトリック大学) と言い、約1万人の学生が在学している。留学生が学ぶところは、その組織下にあるCENTRE INTERNATIONAL D'ETUDES FRANCAISES (C.I.D.E.F.=国際フランス研究センター) である。

T.G.Vのおかげでアンジェは、パリから列車で、1時間半、リヨンから4時間半、ナントと空港までは40分となった。

C.I.D.E.F.は、国際的な共同体を構成しており、民族、宗教、政治、国籍を問わず、勉強と生活を行うことを目的とし、毎年50カ国から学生を集めている。英知大学からも毎年数名が留学している。



# 同窓会名簿発行のお知らせ

同窓会名簿が出来ました。同窓会役員が何よりも頭を抱え、切実に願っていたのが名簿です。名簿編纂の名簿係の苦勞がやっと実りました。

今後4年に1度改訂版を発刊する予定です。この改訂版は4年間年会費を納めて頂いた会員の方と、入会費を納めて頂いた卒業者に無償でお配りするものです。

今回の卒業者名簿はこれまで年会費のご請求をさせて頂かなかつたため、実費負担をお願いします。

残数が限られていますのでお早めの申し込みをお待ちしております。

名簿販売価格 ￥2,000- (送料込み)

◇ 申し込み方法 ◇

同窓会事務局へFAXまたは郵送でお願いします。申込書に氏名、会報などを送付した時のラベルの右下の番号を明記して下さい。

◇ 代金振込先 ◇

さくら銀行 難波支店  
普通口座 6386541  
英知大学同窓会名簿係

## 皆さんご注意を！！

同窓会事務局の名を語り、商品の売り込みをしたり、勤務先を訊ねたりするといった苦情が寄せられています。これらは同窓会と一切関係ありません。悪質な業者や団体が関係している可能性があります。ご注意ください。

もし、不審な電話や手紙などがありましたら、同窓会事務局にお訊ねください。

## 関東支部便り

今年同窓会関東支部の活動も6年目に入ります。活動内容も創立当初に比べ充実し、支部員総数も232名

(男性81名、女性151名)になりました。内訳としては宗教科：22名、神学科：38名、英文科：100名、西文科：47名、仏文科：24名、不明：1名でこれはひとえに母校、同窓会本部はじめ皆様の援助と協力のおかげです。

今後は大幅な役員改選、若手の新風を採り入れながら次の4つのテーマに向かって努力していきます。

- 1) 情報ネットワークを生かし、趣味、スポーツ等のグループ活動を増やしていく。
- 2) 新役員(新卒者や転勤者)とのコミュニケーションの機会の拡大を計る。
- 3) 機関誌の充実(いろいろ試行錯誤をしながら、時代に即した方法で行う。)
- 4) 母校就職課への就職情報の協力。新卒者、特に関東への就職活動希望者に対する情報援助。

関東支部 中村 和徳

## 編集後記

同窓会会報も5号を数えるに至りました。昨年度の総会では皆さんから親しみの持てる会報にと、今年度はトピックスー辺倒になりがちな記事内容をもっと楽しめる内容の物を、との事業報告をしたにも関わらず、やはりトピックスー辺倒の会報になってしまっています。

今回の会報からはお知らせの通り、準会員(在校生)の皆さんにも読んでいただく予定となっております。在校生の皆さんにとって同窓会の近況情報ばかりでは退屈であるかも知れません。

つきましては皆さんからの心休まる楽しめる原稿をお待ちしています。仕事上の苦勞話や、活躍した話、あるいは詩や随筆、4コマ漫画なども大歓迎です。特にこの不況化です。先輩方の仕事の話は在校生にとってはありがたい情報となるのではないのでしょうか。雑誌やニュースでは聞き出せないような業界の裏話など、こぞってお寄せください。

みんなが気楽にアイデア段階から

参加できる同窓会。

受け身ではなく「参加型の同窓会に！」

皆様のアイデア・企画をお願いします。

英知大学総務委員会 大月 力